

## 様式第2号（第9条関係）

## 会議録

会議の名称	令和6年度第2回ふじみ野市放課後子ども教室運営委員会 会議			
開催日時	令和6年12月19日（木） 開会時刻 午後3時00分 閉会時刻 午後4時15分			
開催場所	ふじみ野市立西小学校1階家庭科室			
出席した者の 氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
	委員長	青柳一美	委員	船津誠
	副委員長	山崎博	西小学校長	清水愛子
	委員	湯本貴幸	事務局 (課長)	木村裕之
	委員	柳川智哉	事務局 (副課長)	小林久美
	委員	北見由美子	事務局 (主事)	近藤彩香
	委員	堀内一男	事務局 (会計年度 任用職員)	宮内菊枝
	委員	吉田和実		
会議の議題	議事 1 放課後子ども教室見学 2 令和6年度2学期の放課後子ども教室の活動状況について 3 その他			
会議の公開又は 非公開の別	公開			
会議の非公開の 理由				
傍聴人の数	0人			
会議の内容	別紙のとおり			
会議資料	別添のとおり			
事務局	教育部社会教育課			

議 事 の 確 定	確定年月日	令和7年1月27日
	記名押印 又は署名	役職名  議長 青 柳 一 美 ⑩  ※自署の場合は、押印不要です。

別紙

発言者	発言の要旨
事務局 (小林)	開会及び会議の成立の報告 ・出席者8名、欠席者3名で会議成立を報告
事務局 (木村)	開会挨拶
事務局 (小林)	会場校である西小学校の清水校長を紹介
清水校長	挨拶
事務局 (小林)	進行 ・活動教室見学
	●会議再開
事務局 (小林)	会議公開について説明 ・傍聴者(0名)について報告
青 柳 委員長	議事進行 ・配布資料の確認
事務局 (近藤)	当日配付資料の確認
青 柳 委員長	議事進行 議事(1) 放課後子ども教室見学について ・実際に活動を見学した感想や疑問点についてご意見伺いたい。
堀内委員	前は上野台小学校を数年前に見学したが、活動内容も異なり、子どもたちが活動するには環境の良い教室であると感じた。
船津委員	初めて放課後子ども教室を見学した。放課後児童クラブは学年が上がるにつれて児童は減っていくが、高学年の児童も参加していた。子ども

	<p>たちの居場所になっているのだと感じた。</p>
吉田委員	<p>事前の準備や段取りが整っており、低学年でも取り組みやすいよう手間がかけられていると感じた。</p> <p>週1回子どもたちが楽しめるような計画やコーディネートがよく整っていて、指導員さんの工夫が大きいのだろうと感じた。</p>
柳川委員	<p>放課後児童クラブにも在籍している児童と一緒に楽しんでいる姿を見ることができた。同じ放課後の子どもたちの居場所として、放課後児童クラブの方でも参考になるような取り組みであった。</p> <p>他の学校の放課後子ども教室も見させていただいているが、規模や人数によって内容も異なってくると思う。子どもたちが楽しくのびのびと過ごしている様子で良かった。</p>
北見委員	<p>授業が終わった後の活動でも、子どもたちがしっかり座って取り組んでいる姿を見て、放課後児童クラブとは違う姿を見ることができた。</p>
湯本委員	<p>他校の放課後子ども教室の様子を見たのは初めてである。取り組みのために準備されているものは、手が込んでいてご苦労があったのではないかと思う。そこに児童が自分たちで手を加えて満足感を得ることが、児童の喜びに繋がっているのだろうと感じた。教室の環境も良かった。</p>
青柳 委員長	<p>工作については、1年生から6年生の異なる学年の児童が時間内に仕上がるよう準備するのが難しい部分でもある。しかし学年によってそれぞれの発想をもって楽しんでいる様子が見られている。</p>
山崎 副委員長	<p>他校で指導員をしているが、黒板に分かりやすく段取りが書かれていてよかった。また、今回の工作の事前準備はどれくらいかかったのか気になった。他の学校を見ることで今後の取り組みの参考になった。</p>
青柳 委員長	<p>議事進行 議事（2）令和6年度2学期の放課後子ども教室の活動状況について</p>
事務局 (近藤)	<p>資料1「令和6年度2学期放課後子ども教室運営報告」に基づき説明</p>
青柳 委員長	<p>議事進行 質疑応答</p>

<p>山 崎 副委員長</p>	<p>文京学院大学の学生が参加した学校はどのように決まったのか。コーディネーターの希望制なのか、文京学院大学側からの指定なのか。</p>
<p>事務局 (近藤)</p>	<p>事務局側からは全14教室への学生の参加を大学にお願いしたが、授業に登録している学生の人数や放課後子ども教室の開催日などから、学生が参加可能であった7校に参加していただいた。</p>
<p>山 崎 副委員長</p>	<p>1グループの学生が同じ学校に2、3回参加しているのか。</p>
<p>事務局 (近藤)</p>	<p>今年度は1グループが同じ学校に3回参加した。1・2回目は放課後子ども教室の実際の様子を知ってもらうために指導員の補助として参加し、3回目は学生による企画を実施した。</p>
<p>事務局 (小林)</p>	<p>幼稚園や学校の先生を目指す学生が受講している「地域と学校」という授業と連携している。学校の中だけでなく、地域とともに地域づくりをしていくという視点が重要になっており、大学でもこのような授業が位置付けられている。単発ではなく3回連続で参加し、指導員や児童の様子を知ることで、学生自身が地域側としてどんなことが提供できるか実際に考え、取り組むことができる。そこから得られる成果や学びを大切にし、今回は1校あたり3回というやり方をとった。</p>
<p>山 崎 副委員長</p>	<p>学生は大学に近い学校を選んでいるのか。</p>
<p>事務局 (小林)</p>	<p>学生は他の授業もあり、参加できる日程に限られる。放課後子ども教室の開催日から学生の参加可能な日程を聞き取りし、参加校を決定している。</p>
<p>山 崎 副委員長</p>	<p>全校満遍なく参加できると良いと思う。</p>
<p>吉田委員</p>	<p>多くの学生に参加してほしいという意見は持ち帰り担当講師へ伝える。</p>
<p>事務局 (小林)</p>	<p>授業で放課後子ども教室に参加した学生が、指導員としてボランティアに登録して常時活動に参加してもらえよう道をつくりたいと考え</p>

	<p>ているが、当該授業に登録している学生は4年生が中心のため、なかなか繋げていくのが難しい。なるべく満遍なく参加できるよう引き続き図っていく。</p>
湯本委員	<p>当面の課題として「要支援児童に対する対応」とあるが、特別支援学級の児童がどのくらいの割合でいるのか、そういった児童が放課後子ども教室に参加できないといった状況があるのか。</p>
事務局 (近藤)	<p>今年度の特別支援学級の児童は全校で2名。実際、指導員の配置を十分に取ることができず、参加希望の児童が入室できないという状況が生じている。そういった状況も鑑み、事務局としては、できる限り参加希望の児童が参加できる体制をとるためにも、指導員の新規獲得を進めていかねばならないという認識である。</p>
湯本委員	<p>指導員には特別な資格が必要なのか。特別支援学級の児童の保護者が指導員として参加するというのも可能なのか。</p>
事務局 (小林)	<p>資格は必要ではない。参加児童の保護者が指導員として参加するのも問題はない。</p>
堀内委員	<p>ふじみ野市のボランティア活動に参加する場合は社会福祉協議会が窓口になると思う。社会福祉協議会との繋がりはどうなのか。</p>
事務局 (小林)	<p>社会福祉協議会のボランティアメニューの中には入っていない。</p>
堀内委員	<p>高校生が地域のボランティアに参加しているケースもある。高校生が体験でも参加し、そういった高校生が育っていくように繋げていけると良いのではないか。</p>
事務局 (小林)	<p>平日の日中の時間の開催であり、長期休暇の際には開催していないので、学生の参加はどうしても難しい部分がある。社会福祉協議会との連携は取れると良いと思う。</p>
青柳 委員長	<p>議事進行 議事(3) その他</p>

事務局 (小林)	・次回会議について 3学期に今年度のまとめと来年度に向けた事業内容の説明等を予定。
青 柳 委員長	議事進行 閉会
山 崎 副委員長	閉会の挨拶